

令和3年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和4年7月

令和新时代創造本部

政策戦略監 新时代・SDGs推進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 項
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 項
3	職員の定員、現員調べ	1 項
4	役付職員の調べ	1 項
5	主な事業に関する調べ	2 項
6	決算資料	6 項
7	事業別実施状況調べ	7 項
8	予備費の充用調べ	8 項
9	現金の取扱状況	8 項
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	8 項
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	8 項
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	8 項
13	職員駐車場の管理状況調べ	8 項
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	8 項
15	備品の処分状況調べ	8 項
16	貸付金等状況調べ	8 項
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	8 項

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

(3) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定員	13	13					13	13	
現員	(1) 13	(1) 12	()	() 1	()	()	(1) 13	(1) 13	研修受入(併任：鳥取 県警察本部) 1名
過不足 (△)	0	△ 1		1			0	0	
臨時的 任用職員							0	0	
会計年度 任用職員	2	2					2	2	一般事務

4 役付職員の調べ

(令和4年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
統轄監	池上 祥子	年 月 0 3	
令和新時代創造本部長	長岡 丈道	0 11	R3.7.26~R3.9.8の間の役職 は政策戦略監
政策戦略監	岩下 久展	0 3	
<新時代・SDGs推進課>			
課長	林 公彰	0 11	
課長補佐	小谷 みゆき	0 3	
課長補佐	野村 由里子	0 3	(1年3月)
課長補佐	田中 野恵	2 3	
課長補佐	黒川 香織	0 3	
課長補佐	大谷 武彦	2 3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
SDGs推進事業	3,745	1,485	0	0	2,260
将来ビジョン	SDGsの理念が県民に広く浸透し、県民の参加と協働による環境保全・社会的課題解決・経済活動の好循環などの持続可能な仕組みが確立されている。				
令和新时代創生戦略	大項目	人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む			
	中項目	人財とっとり			
	小項目	女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり			
	SDGsゴール	17.パートナーシップで目標を達成しよう			
政策項目	-				

1 事業の目的、概要

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向けた持続可能な地域社会づくりのため、官民連携の「とっとりSDGsネットワーク」や若者による「とっとり若者SDGsネットワーク」、SDGsへ積極的に取り組む団体等の活動を「見える化」して横展開するための「とっとりSDGsパートナー」制度を持続的に運営し、幅広い主体による活動を後押しするとともに、効果的な情報発信を行う基盤としてのウェブページを整備するなど、一層の普及啓発を実施する。

2 事業の内容、実施状況

(単位：千円)

事業名	内容
オール鳥取県でのSDGs推進事業	ア 官民連携ネットワークの運営 企業、団体、NPO、若者、行政をはじめとした多様な主体による連携・協働のための官民連携組織を運営した。（事務局：県）【とっとりSDGsネットワーク会議（令和3年10月25日）、とっとりSDGs自治体ネットワーク会議（令和3年7月21日、令和4年3月28日）】 イ とっとりSDGsパートナー制度の運営 SDGsに取り組む県内の企業・団体等の活動を「見える化」するための登録制度を運営した。
SDGs普及啓発事業	ウ 鳥取県版SDGsウェブページの作成 県内事業者等の取組や、官民連携ネットワークの活動を発信するウェブページ「とっとりSDGsポータルサイト」を制作・運営した。（令和3年8月開設） エ 県内団体等の取組事例紹介（中止） 県内団体等によるSDGsの取組を後押しし、優良事例の横展開へつなげていくため、紹介動画を制作・公開する予定であったが、新型コロナの影響等により調整ができず中止とした。

3 事業成果（改善状況）、課題等

(1) 成果

官民連携ネットワークによる普及・啓発活動や「とっとりSDGsポータルサイト」の開設等によって、効率的な情報発信を実施することができ、SDGsに取り組む企業・団体等が増加した。

<事業目標の達成状況>

事業目標	目標値 (期間)	実績 (期間)	前年 (期間)
とっとりSDGsパートナー登録件数(累計)	500件 (R2~R6) ※R3.4上方修正300件→500件	461件 (R2.9~R4.3)	175件 (R2.9~R3.3)

ア 官民連携ネットワークの運営

<とっとりSDGsネットワーク>

官民連携で普及啓発イベントを実施するとともに、構成メンバーがそれぞれ精力的に実践活動を展開した。

(構成メンバーの主体的な取組)

構成メンバー	取組の内容
山陰合同銀行・鳥取銀行	企業向けセミナーや、SDGs経営診断・コンサルティング等、県と協働して県内企業のSDGs経営の導入、ステップアップをサポートした。

5 主な事業に関する調べ

構成メンバー	取組の内容
公立鳥取環境大学	持続可能な社会を実現するため、学生だけでなく地域住民にも向けた『SDGsオンライン講座』を提供した。
国立大学法人鳥取大学	地元企業と、産学連携を通じた地域社会の持続可能な発展に資する研究・技術開発テーマ創出や人材育成に向け包括協定を締結した。

<とっとり若者SDGsネットワーク>

若者目線での県内のSDGs推進を目的として発足。令和3年度はメンバー24名（高校生から社会人）の企画により、子どもたちへの普及啓発・実践促進をテーマに子供向け絵本や動画、SDGs取組度を確認できる個人向けアプリの制作等に取り組んだ。

<とっとりSDGs自治体ネットワーク>

令和3年7月、県内自治体間でのSDGsの取組に関する情報共有や連携・協働を進め、持続可能な地域社会の実現につなげるため県及び県内19市町村の参画により発足。とっとりSDGsシーズンに連携したパネル展示等の普及啓発、県東部の流域ワーキングチームによるSDGs教材開発などに取り組んだ。

イ とっとりSDGsパートナー制度

令和4年3月末時点で、企業・団体442者、個人19者の計461者が登録され（令和3年度の新規登録：企業・団体276者、個人10者の計286者）、多様な主体による取組が広がっている。

ウ 鳥取県版SDGsウェブページの作成

県内のSDGsの取組に係る様々な情報を一元的に発信する基盤として制作し、SDGsに関するトピックスやパートナーの活動内容、イベント開催情報などを掲載するとともに、掲載内容の更新や追加等を行った（令和3年8月公開）。またパートナーを対象に旬な情報をまとめてメールマガジンを配信した。※参考URL：とっとりSDGs <https://www.tottori-sdgs.com/>

(2) 課題

オール鳥取県でのSDGsの推進のために、SDGsネットワークなどの官民連携での更なる普及啓発や実践拡大を促す取組を強化するとともに、パートナー制度の登録者の更なる自発的な実践促進のほか登録者間の連携強化による取組の深化が必要である。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとりSDGs実践拡大事業	4,507	1,838	0	0	2,669
将来ビジョン	SDGsの理念が県民に広く浸透し、県民の参加と協働による環境保全・社会的課題解決・経済活動の好循環などの持続可能な仕組みが確立されている。				
令和新時代創生戦略	大項目	人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む			
	中項目	人財とっとり			
	小項目	女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり			
	SDGsゴール	17. パートナースhipで目標を達成しよう			
政策項目	-				

1 事業の目的、概要

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けた持続可能な地域社会づくりのため、「とっとりSDGs伝道師」制度の創設・運営を通じた県内でのSDGs実践の拡大や、「とっとりSDGsウィーク」の実施による全県的な普及啓発・行動喚起、SDGs推進モデルの発掘、支援及び発信を通じた横展開を図り、幅広い分野の連携・協働による課題解決へつなげる。

2 事業の内容、実施状況

(単位：千円)

事業名	内容	
オールとっとりSDGs実践事業	ア「とっとりSDGs伝道師」制度の創設・運営 県内でSDGsに先駆的に取り組む人財を「とっとりSDGs伝道師」として任命し、企業や団体等が開催する研修会等に派遣する制度を創設しSDGsの実践を促進した。	
とっとりSDGsウィーク実施事業	イ「とっとりSDGsシーズン2021」の実施 令和3年11～12月にかけて、SDGsの普及啓発を集中的に行う行動期間「とっとりSDGsシーズン2021」として、オンラインフォーラムとして有識者等を交えたトークセッションやセミナーをインターネットで配信するとともに、SDGsネットワークと地域が連携したフラッグ掲出等のイベントを実施した。	
SDGs推進モデル創出事業	ウ 鳥取県SDGs推進モデル創出補助金 県内事業者のSDGsの複数ゴールの課題解決につながるモデル性の高い取組を支援した。	
	補助対象者	県内事業者(県内に事務所等を有して事業活動を行う者)
	補助対象事業	SDGsの複数のゴールの課題解決につながり、公共性や継続性が認められ、SDGsを象徴するモデルとなることが期待される事業
	補助率	1/2 ※事業期間:交付決定～12か月以内
	予算額	3,000千円(予算額内で2件程度採択)

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 成果

とっとりSDGs伝道師の活用やSDGsシーズンの開催により、県民のSDGsの認知度向上や、県内企業・団体等のSDGsの理解促進及び実践拡大が図られた。

<事業目標の達成状況>

事業目標	目標値(期間)	実績(期間)	前年(期間)
とっとりSDGsパートナー登録件数(累計)	500件 (R2～R6) ※R3.4上方修正300件→500件	461件 (R2.9～R4.3)	175件 (R2.9～R3.3)

ア 「とっとりSDGs伝道師」制度の創設・運営

とっとりSDGs伝道師を企業や団体などに派遣することにより、県民のSDGsの理解促進につながった。(伝道師11名、派遣件数23件)

イ「とっとりSDGsシーズン2021」の実施

県内で集中的にイベント開催、情報発信をすることにより、SDGsの認知度向上につながった。

5 主な事業に関する調べ

ウ 鳥取県SDGs推進モデル創出補助金

県内事業者による公共性や継続性の高いSDGsの取組を象徴モデルとして支援し、県内事業者のSDGsへの関心を高め、SDGsの実践を促した。

【鳥取県SDGs推進モデル創出補助金の執行状況】（補助上限3,000千円、補助率1/2）

事業者名	補助額 (千円) 上段：交付決定額 下段：執行額	事業内容	事業期間
学校法人 かいけ幼稚園	1,050 1,050	残飯残渣量を見える化し液肥として活用することで子どもたちに食のサイクルを体験させる。	令和3年8月～令和4年7月
因幡環境整備 株式会社	1,950	食品リサイクルで生産した農産物のLCCO2評価 ^(※) を行い、CO2削減効果を見える化して消費者の意識啓発を行う。 ^(※) ライフサイクルCO2:製品の製造・輸送・販売・使用・廃棄・再利用まで全ての段階での二酸化炭素(CO2)発生量を評価するもの	令和3年8月～令和4年7月

(2) 課題

幅広い分野の連携・協働による課題解決へつなげていくために、県内企業のモデル的な取組事例のさらなる発掘と横展開、分野を超えた事業者間のパートナーシップの促進が必要である。

7 事業別実施状況調べ

(単位：円、%)

事業名	予算現額				計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						
(一般管理費)										
令和新时代創造本部管理運営費	6,023,000	0	0	354,398	6,377,398	3,076,164	0	3,301,234	0.48	○事業計画と実績・成果 令和新时代創造本部内及び県庁各所属との連絡調整を行い、効率的な業務運営を行うための経費 ○不用額の理由 県外出張の減により、普通旅費、役務費(ANA@desk)の支出が少なかったため ○予算現額のうち354,398円は赴任旅費としての所管替担当
職員人件費	270,228,000	17,920,000	0	0	288,148,000	276,054,605	0	12,093,395	0.96	○会計年度任用職員に係る人件費
目計	276,251,000	17,920,000	0	354,398	294,525,398	279,130,769	0	15,394,629	0.95	
(企画総務費)										
職員人件費	100,341,000	4,833,000	0	0	105,174,000	104,024,564	0	1,149,436	0.99	○会計年度任用職員に係る人件費
目計	100,341,000	4,833,000	0	0	105,174,000	104,024,564	0	1,149,436	0.99	
(計画調査費)										
県政推進費	9,377,000	△ 2,494,000	0	△ 506,000	6,377,000	2,993,379	0	3,383,621	0.47	○事業計画と実績・成果 ・県政顧問、県政アドバイザースタッフ アフターコロナの情報発信、小学校の授業参観・職員研修や県産魚介類のPRイベントについて助言をいただき、効果的な施策立案に活用した。 ・県・市町村行政懇談会 新型コロナ対策や島根原発等を議題として、知事や各市町村長等が参加しオンラインにより懇談会を実施した。 ・パートナー県政推進会議 県政への県民意見の反映等について議論をすることを目的として、知事、本部長と県政委員(13名)の出席により「ポストコロナ時代における鳥取県の地域づくり」をテーマとしてオンラインを活用して会議を開催した。 ・若者ミーティング 「脱炭素ライフスタイルの促進」及び「令和時代の家庭内役割分担を考える」をテーマとして、県内の社会人、学生の若者からなるメンバー(10名)によりオンライン会議を通じて提言をとりまとめ、知事に発表した。 ○不用額の理由 対面形式の会議の減により、費用弁償、使用料及び賃借料(会場借上げ)の支出が少なかったため
(主)SDGs推進事業	4,328,000	0	0	543,000	4,871,000	3,744,800	0	1,126,200	0.77	○事業計画と実績・成果 主な事業に関する調べのとおり
(主)とっとりSDGs実践拡大事業	6,800,000	△ 2,250,000	0	△ 37,000	4,513,000	4,506,537	0	6,463	1.00	○事業計画と実績・成果 主な事業に関する調べのとおり
目計	20,505,000	△ 4,744,000	0	0	15,761,000	11,244,716	0	4,516,284	0.71	
合計	397,097,000	18,009,000	0	354,398	415,460,398	394,400,049	0	21,060,349	0.95	

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費国庫補助金	4,063,000	△ 150,000	0	3,913,000	3,323,210	3,323,210	0	0	
	雑入	120,000	0	0	120,000	118,590	118,590	0	0	
	合 計	4,183,000	△ 150,000	0	4,033,000	3,441,800	3,441,800	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌 年 度 繰 越 額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	一般管理費	276,251,000	17,920,000	0	354,398	294,525,398	279,130,769	279,130,769	0	0	15,394,629	
	企画総務費	100,341,000	4,833,000	0	0	105,174,000	104,024,564	104,024,564	0	0	1,149,436	
	計画調査費	20,505,000	△ 4,744,000	0	0	15,761,000	11,244,716	11,234,516	10,200	0	4,516,284	
	合 計	397,097,000	18,009,000	0	354,398	415,460,398	394,400,049	394,389,849	10,200	0	21,060,349	

- 8 予備費の充用調べ 該当なし
- 9 現金の取扱状況
 - (1) 現金取扱状況 該当なし
 - (2) つり銭の状況 該当なし
- 10 財産に関する調べ
 - (1) 公有財産
 - ア 土地 該当なし
 - イ 建物 該当なし
 - ウ 山林 該当なし
 - エ 不動産売却等 該当なし
 - オ 財産の交換 該当なし
 - カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
 - キ 物件 該当なし
 - ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
 - (ア) 異動状況 該当なし
 - (イ) 出願及び登録の状況 該当なし
 - (ウ) 活用の状況 該当なし
 - ケ 有価証券 該当なし
 - コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
133 枚	0 枚 (JCB無料)	26 枚 45,340 円	107 枚

- (3) 基金 該当なし
- (4) 債権 該当なし

11 財産の貸付け及び使用許可調べ

- (1) 土地及び建物
 - ア 土地 該当なし
 - イ 建物 該当なし
- (2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

12 借受不動産明細調べ 該当なし

13 職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 管理状況 該当なし
- (2) 減免の考え方 該当なし
- (3) 使用料の見直し 該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

15 備品の処分状況調べ 該当なし

16 貸付金等状況調べ

- (1) 総括表 該当なし
- (2) 償還状況 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

(2) 監査委員事務局に対する要望等